



おかめの手踊り



ころうじ
-神地(中原区上小田中)に伝わる囃子と囃子神楽-

体験ワークショップ参加者募集!

伝統人形芝居「乙女文楽」の上演もあるよ。

2014年8月23日(土)

[時間] 9時45分~11時45分

[対象] 子どもから大人まで

[会場] 川崎市国際交流センター
レセプションルーム
(川崎市中原区木月祇園町2-2)

参加無料 ※要申し込み※

地元の郷土芸能を、ひとみ座乙女文楽とともに紹介する、地域芸能交流ワークショップ第3弾。今年には中原区上小田中で活動される神地祭囃子保存会をお招きして郷土芸能を体験してもらいます!



<プログラム内容>

- ・上演 乙女文楽「二人三番叟」
(ひとみ座乙女文楽)
- ・上演 囃子神楽「おかめの手踊り」、他
(神地祭囃子保存会)
- ・体験 岡崎拍子と神楽舞
(神地祭囃子保存会)

<お申し込み・お問い合わせ>

(公財)現代人形劇センター

TEL 044-777-2228

FAX 044-777-3570

E-MAIL asia@puppet.or.jp

<http://www.puppet.or.jp/>

<主催>

(公財)現代人形劇センター/中原区

-平成26年度中原区市民提案型事業-

○お知らせ○ 第7回乙女文楽教室発表会 開催! <2014年8月31日(日)13時半>



【神地祭囃子】

神地（ごうじ）は、中原区上小田中に昔からある小字で、地図にはない呼称です。
明治の初期から、目黒囃子を源流とした囃子が伝えられ、神明神社の祭礼で演じられています。

【おかめの手踊り】

「おかめの手踊り」は囃子神楽ではポピュラーな演目です。おかめが赤ちゃんを子守し、寝かしつけてから「部屋掃除」「針仕事」「お化粧」等の仕草を身振り手振りでユーモラスに演じるものです。ひと昔前（ミシンや掃除機がなかった時代）では、どこの家庭でも見られた、生活のいち場面ですが、今では見受けられない仕草が沢山あります。それらの仕草がどのように演じられるか、乞うご期待！

【乙女文楽】

乙女文楽とは、三人遣いの＜人形浄瑠璃文楽＞の流れを汲み誕生した、一人遣いのめずらしい伝統人形芝居で、その名の通り、これまで、女性のみで演じられてきました。中原区の人形劇団ひとみ座の女性座員によって传承されています。



【地域芸能交流ワークショップとは】

乙女文楽を子どもたちに传承する、夏休み乙女文楽教室を2008年から行っています。その乙女文楽教室の特別プログラムとして始まったのが、地域芸能交流ワークショップです。同じ川崎市中原区で传承される地域芸能を互いに知り、体験するプログラムです。
教室参加者だけでなく、地元の方々にも広く参加していただける、地域芸能を通じた交流ワークショップです。

FAX専用申込用紙：044-777-3570

お名前	ふりがな	性別
		男・女
学校・学年（参加者がお子さまの場合）		
		学校 年
住所 〒		
電話番号	FAX番号	

＜お申し込み・お問い合わせ＞

（公財）現代人形劇センター
（川崎市中原区井田3-10-31）
TEL 044-777-2228 / FAX 044-777-3570 /
E-MAIL asia@puppet.or.jp

第7回乙女文楽教室発表会 開催！

2014年8月31日（日）13:30 ひとみ座スタジオにて
演目：「二人三番叟」・「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」
出演：第7回乙女文楽教室参加者・ひとみ座乙女文楽
お問合せ：（公財）現代人形劇センターまで